

ソフランシール



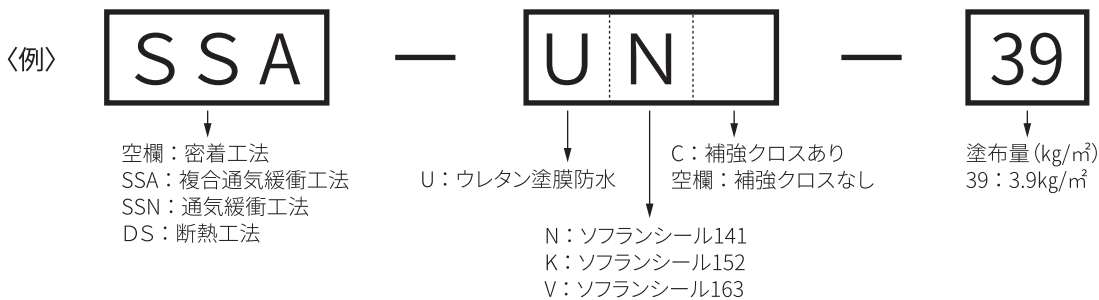
Contents

工法表記の見方・工法適用表

◇Contents

ソフランシール保護仕上材	2
ソフランシールの環境対応	3
複合通気緩衝工法	5
SSAシート施工要領	6
通気緩衝工法	7
断熱工法	8
密着工法(補強クロスなし)	9
密着工法(補強クロスあり)	9
立上り工法	9
密着工法(ベランダ・バルコニー)	11
密着工法(パラペット・笠木・架台)	12
密着工法(防滑シート・巾木・側溝)	13
公共建築工事標準仕様書(平成31年版)	14
ソフランシール施工のポイント	16
ソフランシール製品一覧表	17
ソフランシール製品物性値・消防法規制	18
ソフランシール製品紹介	19
ソフランシール標準納まり例	27
注意事項	29

◇工法表記の見方



◇ソフランシール工法の各部位標準適用表

用 途	ソフランシール工法			
一般的な屋上	SSA	SSN		
屋上(既存ウレタン防水の改修)	UNC	UKC		
複雑な形状の屋上	UNC	UKC		
断熱が必要な屋上	DS			
ルーフバルコニー	SSA	SSN	UNC	UKC
庇	UNC	UKC	UN	UK
ベランダ・バルコニー	UN	UK		
開放廊下(側溝・巾木)注：防滑シート併用	UN	UK		
パラペット・笠木	UKC	UVC	UK	UV

※下地の種類や状態によって最適な工法を選択ください。適用表は一つの目安としてください。
改修工事等の際は、事前にご相談ください。

TN・TLS・TN-H・YNトップ・200シルバー・クッションマット

製品名	TN	TLS	TN-H	YN	200シルバー	クッションマット
材質・特性	2液性	2液性	2液性	1液性	1液性	EPDM製ゴムチップマット
	溶剤型	弱溶剤型	溶剤型	水性	溶剤型	
	アクリルウレタン	アクリルシリコン	アクリルウレタン (耐候剤HALS入り)	アクリル	ウレタン	EPDM
	一般汎用	環境対応型 高耐候性	高耐候 高反射遮熱	珪砂入り	一般汎用 シルバー	透水性マット

●TN・TLSトップ (高耐候塗料)



- 特注色は日本塗料工業会の色見本帳にご注文ください。
- TNトップ標準色：8色（ライトグレー・パールグレー・パールブラウン・ブラウン・ライトアイボリー・ライトベージュ・リーフグリーン・グレー）
- フィライト(骨材)を添加することにより粗面仕上げにすることができます。
- 軽歩行に対応できます。

●TN-Hトップ (高耐候・高反射塗料)



- 特注色の対応も可能ですが、その場合は「高耐候」性能のみとなり「高反射遮熱」性能は特注色にはありません。
- 標準色：6色（ホワイトライトグレー・ホワイトパールグレー・ホワイトグリーン・ホワイトブルー・ホワイトベージュ・ホワイトブラウン）
- フィライト(骨材)を添加することにより粗面仕上げにすることができます。
- 軽歩行に対応できます。

●YNトップ



- 特注色は対応していません。
- 1液性の珪砂入りアクリルエマルション系の保護仕上材です。
- 標準色：2色（グレー・グリーン） ■軽歩行用となります。

●200シルバー



- 特注色は対応していません。
- 1液性の油性ウレタン系保護仕上材です。
- 色調：シルバー ■非歩行用となります。

●クッションマット (EPDM製 透水性ゴムチップマット)



- 特注色は対応していません。
- EPDM製の歩行用ゴムチップマットです。
- 透水性があり粉碎ゴムチップを圧縮して成形しているため表面に凹凸があり歩行時に滑りにくい形状となっています。
- 専用のクッションマットボンドを防水層面にクシ目コテを用いて塗布しクッションマットを敷設した後、圧着ゴムローラーで転圧します。
- 標準色：5色（レンガ・グリーン・グレー・ブラウン・ブラック）
- 色調により経年で色落ちする場合があります。

<保護仕上材仕様の工程>

単位：塗布量 (kg/m²)

工 程	1	工 程	1	2
TNトップ	TNトップ	YNトップ	プライマーU-011	YNトップ
	0.2		0.1	1.0
TLSトップ	TLSトップ	200シルバー	200シルバー	
	0.2		0.2	
TN-Hトップ	TN-Hトップ	クッションマット	クッションマットボンド	クッションマット
	0.3		0.6	

※期待性能を確保するために、規定の塗布量を守ってください。
 ※特注色の場合、色によっては色調できない場合や、隠蔽性が悪く塗布回数が増える場合がありますのであらかじめご了承ください。
 ※印刷のため実際の色調と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

環境対応への取組み

◇シックハウス規制対策の取組み

F☆☆☆☆の取得

住宅の高気密・高断熱化が進み、化学物質を含有した建材による室内空気汚染に由来する様々な健康障害を総称して、シックハウス症候群と呼びます。この対策として平成15年「シックハウス法（建築基準法一部改正）」が施行され、ホルムアルデヒド、クロロピリホスというVOC（Volatile Organic Compounds 揮発性有機化合物）を居室内において規制する対策が盛り込まれました。当社では、主要製品についてホルムアルデヒド発散等級として最も発散量の低い製品に表示できる「F☆☆☆☆」の表示登録を自主認定機関の日本ウレタン建材工業会（NUK）に申請登録しています。

製品名称	登録番号	製品名称	登録番号
ソフランシール141	NUK-F06025	プライマーME	NUK-F12686
ソフランシール152	NUK-F12671	プライマーPW	NUK-F06079
ソフランシール163	NUK-F06026	ボンドM	NUK-F07150
プライマーU-002 T	NUK-F06024	ボンド550	NUK-F06029
プライマーU-002 Tα	NUK-F10540	TNトップ	NUK-F06027
プライマーU-006	NUK-F06127	TLSトップ	NUK-F13750
プライマーU-011	NUK-F07149	TN-Hトップ	NUK-F09462

「F☆☆☆☆」の表示は、自主認定機関の日本ウレタン建材工業会に表示登録した製品です。

ホルムアルデヒド発散等級表

建築材料の区分	ホルムアルデヒドの発散量	JIS、JASなどの表示記号	使用制限
建築基準法の規制対象外		F☆☆☆☆	制限なしに使える
第3種ホルムアルデヒド発散建築材料		F☆☆☆	使用面積が制限される
第2種ホルムアルデヒド発散建築材料		F☆☆	
第1種ホルムアルデヒド発散建築材料		—	使用禁止

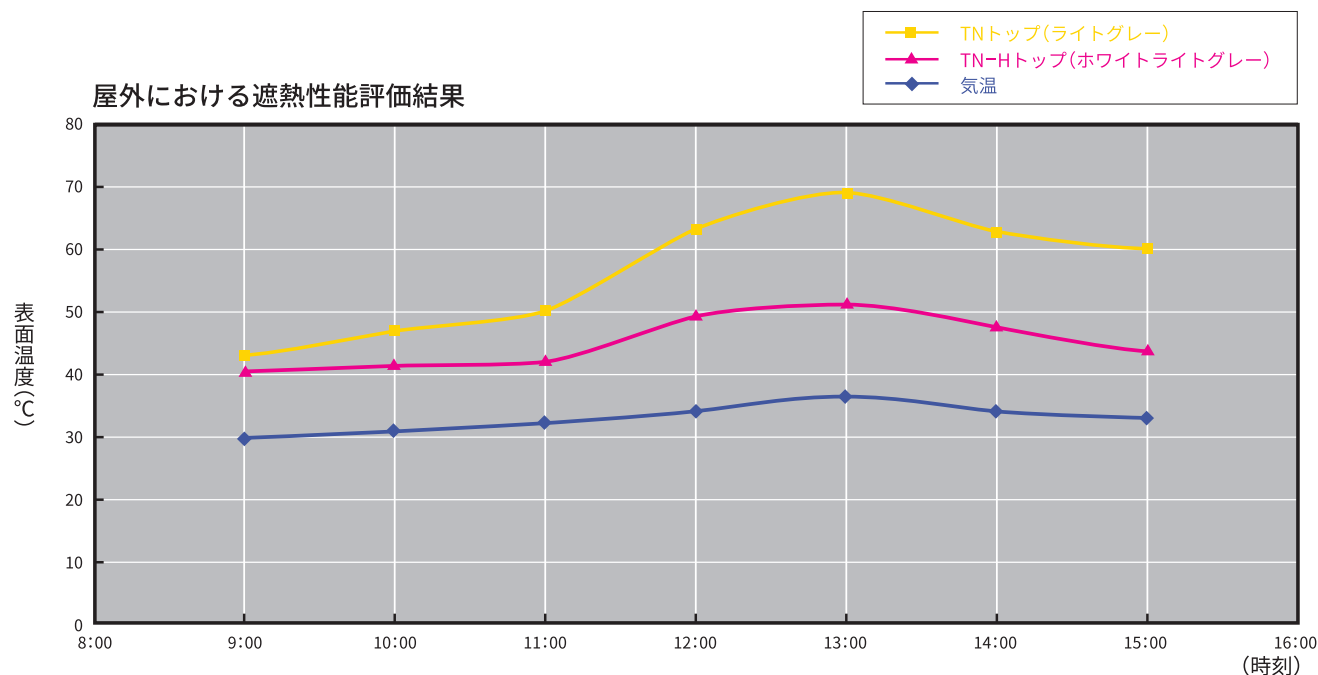
◇ヒートアイランド対策 TN-Hトップ

『TN-Hトップ』は太陽光の熱反射率の高い着色顔料の採用により、遮熱効果を発揮します。仕上塗料として塗布した場合、塗膜表面温度を最大で約18℃（当社比）低下させる効果が期待できます。室内省エネ効果だけでなく、防水層の熱劣化を軽減する機能も有しております。

項 目	ホワイトライトグレー	ホワイトパールグレー	ホワイトグリーン	ホワイトブルー	ホワイトベージュ	ホワイトブラウン
日射反射率（近赤外領域）	68.2%	69.5%	62.0%	73.2%	67.5%	65.4%

※保証値ではありません。

●遮熱性データ【屋外試験結果】（測定場所：埼玉県内、測定時期：7月、天候：晴れ時々曇り）



◇ライフサイクルの低減について TN-Hトップ/TLSTトップ

通常、一般的な保護仕上材は、約5年に1度の割合で保護仕上材の塗替えを行う事を必要としますが、『TN-Hトップ』『TLSTトップ』は、紫外線などからの劣化に耐える高耐候性能を備えており、長期に渡り防水層を保護することができます。

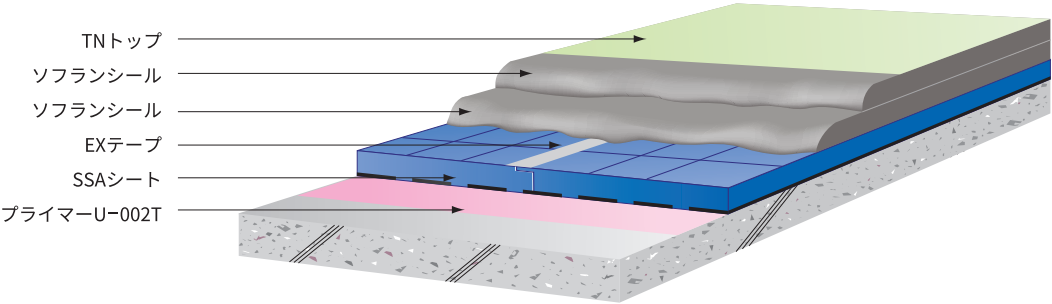
最長10年※まで保護仕上材の塗替えを行わなくても、防水層への紫外線や酸性雨・オゾン等の自然劣化を抑え維持することができ、建物のライフサイクルコストを大幅に低減できます。

また、新築工事における「住宅の品質確保の促進に関する法律（品確法）」への対応にも適した保護仕上材です。

※特殊な環境条件により、短くなることがあります（保証値ではありません）。

複合通気緩衝工法 ソフランシールSSA工法

SSA－UN工法



単位：塗布量 (kg/m²)

工 程	1	2	3	4	5
SSA-UN-39	プライマー U-002T 0.2	SSAシート －	ソフランシール141 2.0	ソフランシール141 1.9	TNトップ 0.2



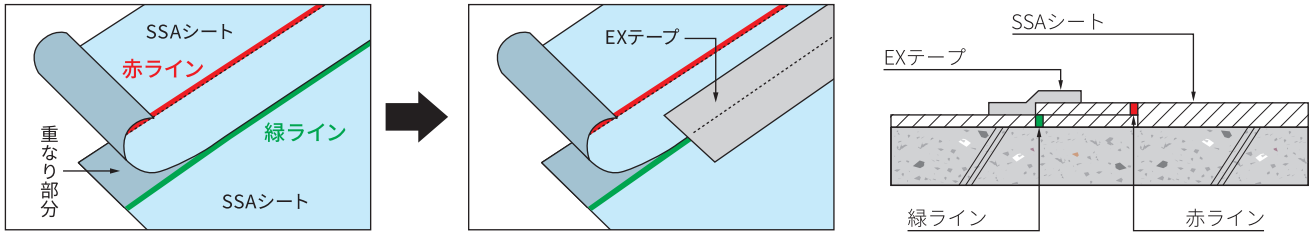
- SSAシートの長辺部は、EXテープを張り付けます。短辺部はEXテープ＋GSテープ（またはクロス）で補強します。端末部は、STテープ＋GSテープ（またはクロス）で補強します。
- 脱気筒を50㎡に1箇所設置してください。
- 保護仕上材は、使用目的に応じて選択することができます（P.2参照）。
- 立上り部はP.9を参照してください。

各通気緩衝工法の比較

	SSA 工法	SSN 工法
長所	・プライマーを塗布するだけで、シートを張り付けることができる。 ・雨養生が可能。 ・ジョイント部は重ね張りのため防水性能が高い。	・比較的悪い下地でも施工可能。 ・施工後の信頼性が高い。
短所	・ジョイントおよび周囲のテープ処理が複雑である。 ・均一な下地処理が必要。	・雨養生ができない。 ・接着剤を塗布しながらシートを張り付けるための手間がかかる。

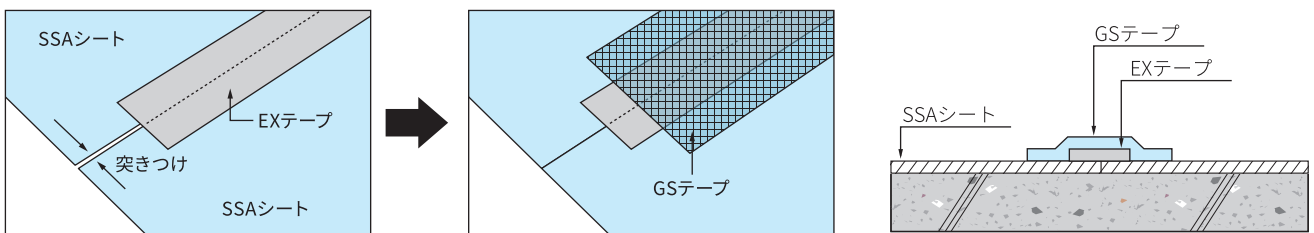
ソフランシールSSA工法

[長辺部の処理]



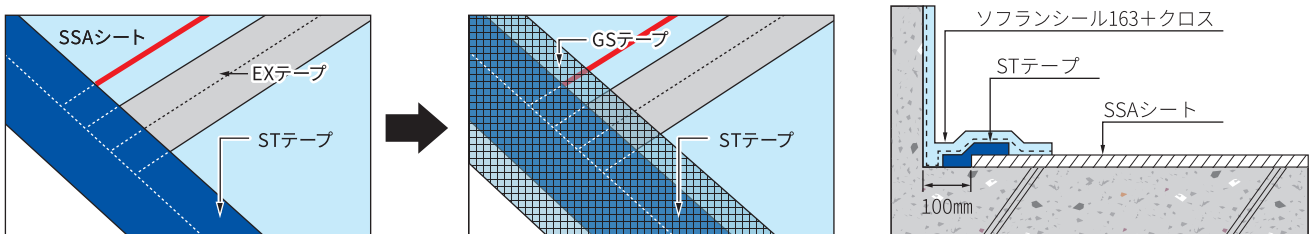
- ① SSAシートの上側のシートの末端を下側の緑ラインに合わせて張り付けます。
- ② 重ね張りした長辺部にEXテープ(グレーのテープ40mm幅)を均等に張り付けます。

[短辺部の処理]



- ① 短辺部は、突きつけとしSSAシート同士のすき間は5mm以内とします。
SSAシートが重なった箇所をカッター等で取り除きます。
- ② EXテープを均等に張り付け、ゴムローラー等で転圧をします。
- ③ その上からGSテープ(またはクロス)を張り付けます。

[端末部の処理]

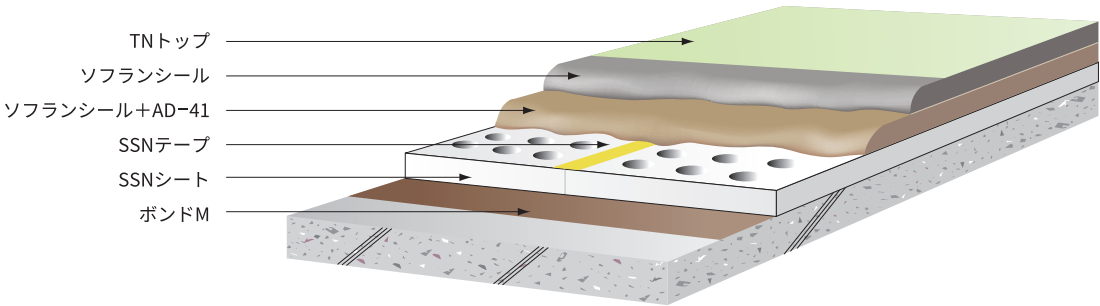


立上りのある場合の詳細図

- ① SSAシートの端末(周囲)にSTテープ(黒色のブチルテープ)を張り付け、ゴムローラーで転圧します。
- ② 立上り部にクロス補強を行う場合は、クロスGSまたはPCを張り下げて補強処理を行ないます。
- ③ 立上りのない場合や立上り部にクロスを用いない場合は、GSテープを使用し、STテープの中心から均等に張り付けます。

通気緩衝工法 ソフランシールSSN工法

SSN-UN工法



単位：塗布量 (kg/m²)

工 程	1	2	3	4	5
SSN-UN-33	ボンドM 0.3	SSNシート —	ソフランシール141 AD-41(下記参照) 1.5	ソフランシール141 1.8	TNトップ 0.2
SSN-UN-39	ボンドM 0.3	SSNシート —	ソフランシール141 AD-41(下記参照) 1.5	ソフランシール141 2.4	TNトップ 0.2



- ソフランシール141+AD-41に替えてソフランシール163、ソフランシール152の使用もできますが、工程が増えますので事前にご相談ください。
- 脱気筒を50㎡に1箇所設置してください。
- 保護仕上材は、使用目的に応じて選択することができます(P.2参照)。
- 立上り部はP.9を参照してください。
- SSNシートは降雨等でぬれると吸水し乾きませんので天候管理には十分注意してください。

ソフランシール141+添加剤AD-41の混合手順

	18kg/セット	24kg/セット
ソフランシール141主剤	6 kg	8kg
ソフランシール141硬化剤	12kg	16kg
AD-41	0.24kg	0.32kg

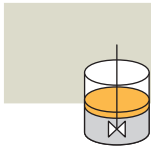
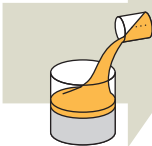
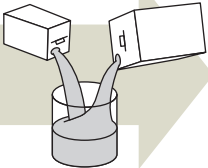
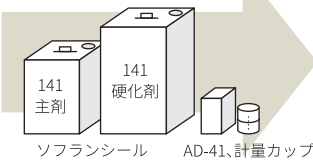
ソフランシール141の硬化剤に対し
AD-41を重量比2%添加する。

①製品準備

②主剤と硬化剤を規定量投入する

③AD-41投入

④攪拌混合(3～5分)

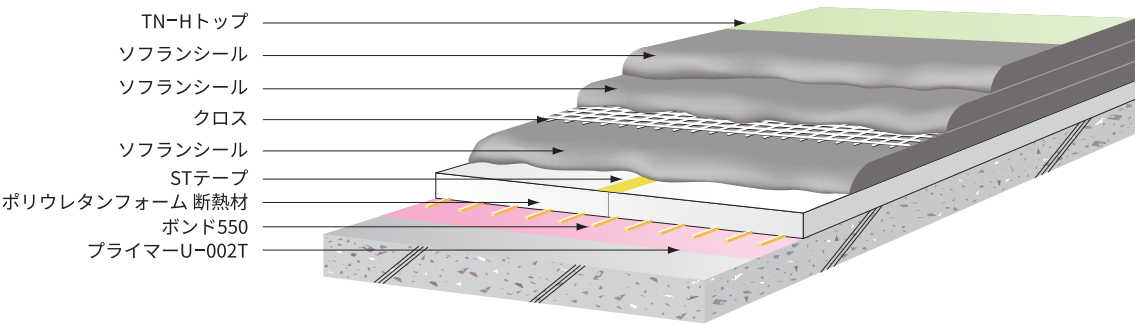


増粘を確認
(完了)

※先にソフランシール141主剤をバケツ等に移し、ソフランシール141硬化剤を投入しAD-41を投入する場合があります。

断熱工法 ソフランシールDS工法

DS-UNC工法



単位：塗布量 (kg/m²)

工 程	1	2	3	4	5	6	7	8	9
DS-UNC-39	プライマー U-002T	ボンド 550	断熱材 ポリウレタンフォーム (アキレスボード)	ソフランシール 141	クロス	ソフランシール 141	ソフランシール 141	TN-H トップ	TN-H トップ
	0.2	1.0	—	0.3	—	1.8	1.8	0.15	0.15

注意事項

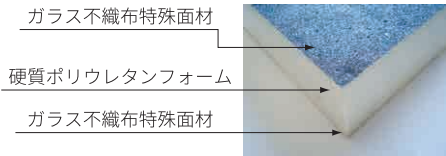
- ボンド550の塗布作業は、クシ目コテを用いて塗布してください。
(クシ目コテの形状:ピッチ幅30mm、山高さ9mm程度)
- 脱気筒を50㎡に 1 箇所設置する場合があります。
- 立上り部はP.9を参照してください。
- 特殊工法の為、事前にご相談ください。

<アキレスボードGFノンフロン(高密度)の物性(厚さ50mm)>

項 目	単 位	性 能	試験方法
フォーム密度	kg/m ³	35以上	JIS A 9521
熱伝導率	W/(m・K)	0.023以下	JIS A 1412-2
圧縮強さ	N/cm ²	10以上	JIS A 9521
吸水量	g/100cm ³	5.0以下	JIS A 9521

<アキレスボードGFノンフロンの製品規格>

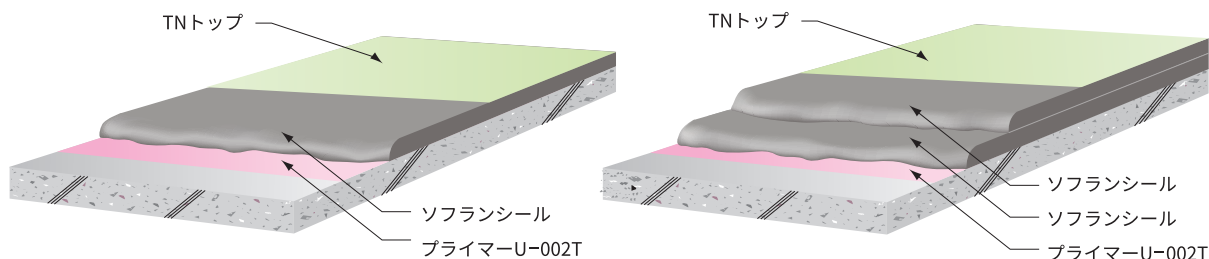
厚さ(mm)	規格寸法(mm)	重量単位kg/m ²	梱包数
25	605×910	1.25	20枚
30		1.43	17枚
35		1.56	14枚
40		1.74	12枚
50		2.13	10枚



※上記数値は、測定値(平均値)であり、保証値ではありません。

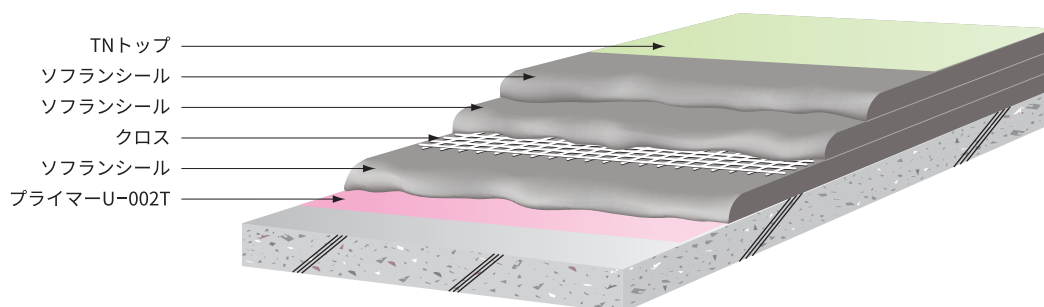
密着工法(補強クロスなし) ソフランシールUN・UK工法

UN・UK工法



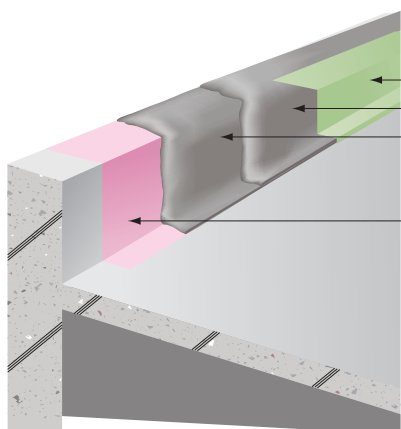
密着工法(補強クロスあり) ソフランシールUNC・UKC工法

UNC・UKC工法

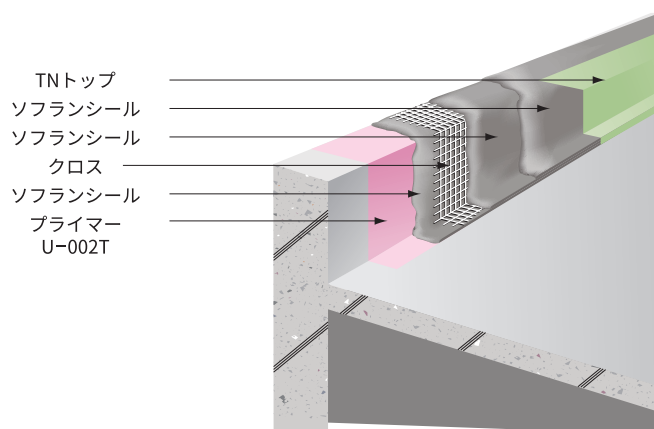


立上り工法 ソフランシールUV・UVC工法

UV工法



UVC工法



ソフランシールUN・UK工法

単位：塗布量 (kg/m²)

工 程	1	2	3	4
UN-20	プライマーU-002T	ソフランシール141	TNトップ	
	0.2	2.0	0.2	
UN-26	プライマーU-002T	ソフランシール141	TNトップ	
	0.2	2.6	0.2	
	プライマーU-002T	ソフランシール141	ソフランシール141	TNトップ
	0.2	1.6	1.0	0.2
UN-39	プライマーU-002T	ソフランシール141	ソフランシール141	TNトップ
	0.2	2.0	1.9	0.2
UK-21	プライマーU-002T	ソフランシール152	TNトップ	
	0.2	2.1	0.2	
UK-28	プライマーU-002T	ソフランシール152	TNトップ	
	0.2	2.8	0.2	
	プライマーU-002T	ソフランシール152	ソフランシール152	TNトップ
	0.2	1.4	1.4	0.2
UK-42	プライマーU-002T	ソフランシール152	ソフランシール152	TNトップ
	0.2	2.1	2.1	0.2

注意事項

- バルコニー、庇等の小面積の部位は、ソフランシール141、ソフランシール152を2回塗りから、1回塗りにすることもできます(ソフランシールの硬化を必ず確認してください)。
- 保護仕上材は、使用目的に応じて選択することができます(P.2参照)。
- 立上り部はP.9を参照してください。

ソフランシールUNC・UKC工法

単位：塗布量 (kg/m²)

工 程	1	2	3	4	5	6
UNC-26	プライマーU-002T	ソフランシール141	クロス	ソフランシール141	ソフランシール141	TNトップ
	0.2	0.3	—	1.3	1.0	0.2
UNC-39	プライマーU-002T	ソフランシール141	クロス	ソフランシール141	ソフランシール141	TNトップ
	0.2	0.3	—	2.0	1.6	0.2
UKC-28	プライマーU-002T	ソフランシール152	クロス	ソフランシール152	ソフランシール152	TNトップ
	0.2	0.3	—	1.5	1.0	0.2
UKC-42	プライマーU-002T	ソフランシール152	クロス	ソフランシール152	ソフランシール152	TNトップ
	0.2	0.3	—	2.1	1.8	0.2

注意事項

- 保護仕上材は、使用目的に応じて選択することができます(P.2参照)。
- 立上り部はP.9を参照してください。
- クロスは、クロスGSまたはクロスPCのいずれかを選択できます。

ソフランシールUV・UVC工法

単位：塗布量 (kg/m²)

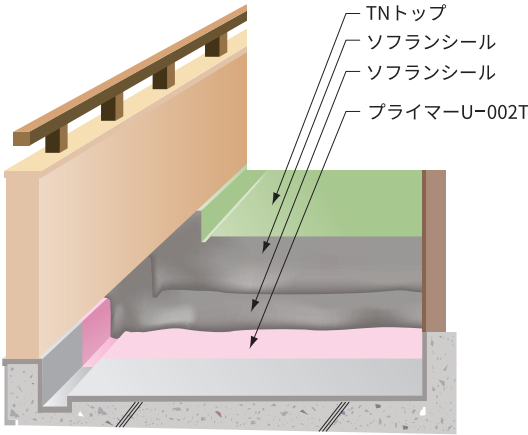
工 程	1	2	3	4	5	6
UV-28	プライマーU-002T	ソフランシール163	ソフランシール163	TNトップ		
	0.2	1.4	1.4	0.2		
UVC-28	プライマーU-002T	ソフランシール163	クロス	ソフランシール163	ソフランシール163	TNトップ
	0.2	0.3	—	1.5	1.0	0.2

注意事項

- 保護仕上材は、使用目的に応じて選択することができます(P.2参照)。
- UV工法では必要に応じて入隅部にクロス補強を行ってください。

密着工法（ベランダ・バルコニー） ソフランシールUN・UK工法

UN・UK工法



単位：塗布量 (kg/m²)

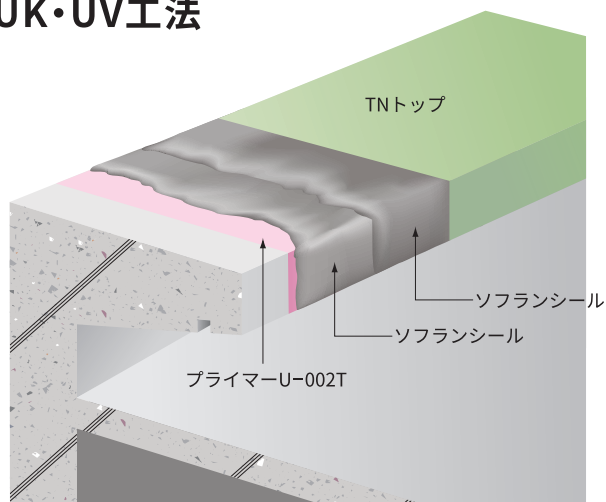
工 程	1	2	3	4
UN-26	プライマーU-002T	ソフランシール141	TNトップ	
	0.2	2.6	0.2	
	プライマーU-002T	ソフランシール141	ソフランシール141	TNトップ
	0.2	1.6	1.0	0.2
UK-28	プライマーU-002T	ソフランシール152	ソフラントップTN	
	0.2	2.8	0.2	
	プライマーU-002T	ソフランシール152	ソフランシール152	TNトップ
	0.2	1.4	1.4	0.2

注意事項

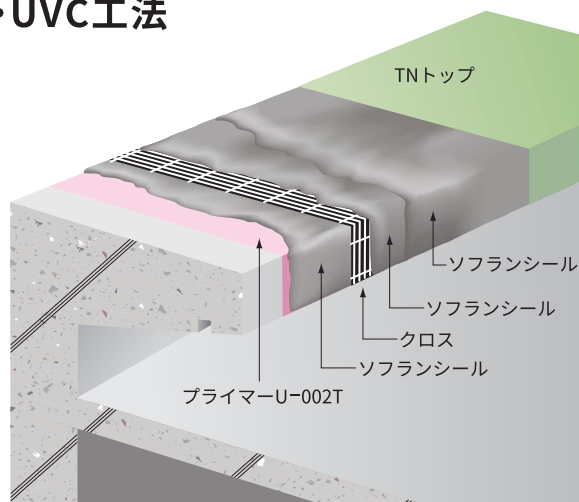
- 1回塗りの工程の場合は、ソフランシールの硬化を必ず確認してください。
- 保護仕上材は、使用目的に応じて選択することができます (P.2参照)。

密着工法（パラペット・笠木・架台） ソフランシールUK・UKC・UV・UVC工法

UK・UV工法



UKC・UVC工法



単位：塗布量 (kg/m²)

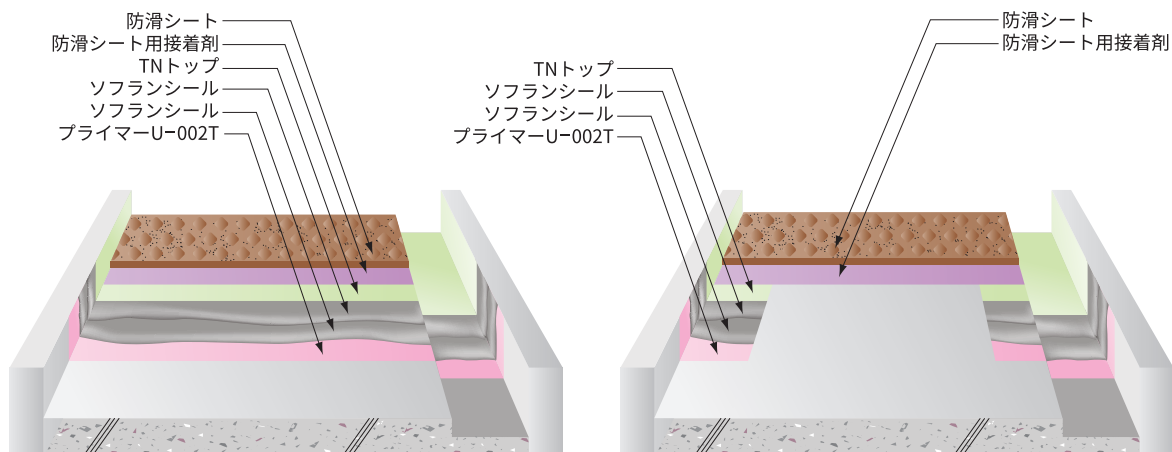
工 程	1	2	3	4	5	6
UK-28	プライマーU-002T 0.2	ソフランシール152 1.4	ソフランシール152 1.4	TNトップ 0.2		
UKC-28	プライマーU-002T 0.2	ソフランシール152 0.3	クロス —	ソフランシール152 1.5	ソフランシール152 1.0	TNトップ 0.2
UV-28	プライマーU-002T 0.2	ソフランシール163 1.4	ソフランシール163 1.4	ソフラントップTN 0.2		
UVC-28	プライマーU-002T 0.2	ソフランシール163 0.3	クロス —	ソフランシール163 1.5	ソフランシール163 1.0	TNトップ 0.2

注意事項

- 保護仕上材は、使用目的に応じて選択することができます (P.2参照)。
- UN、UNC工法については、別途ご相談ください。
- クロスは、クロスGSまたはクロスPCのいずれかを選択できます。

密着工法(防滑シート・巾木・側溝) ソフランシールUN・UK工法

UN・UK・UV工法



単位: 塗布量 (kg/m²)

工 程	1	2	3	4
UN-20	プライマーU-002T 0.2	ソフランシール141 2.0	TNトップ 0.2	
UN-26	プライマーU-002T 0.2	ソフランシール141 2.6	TNトップ 0.2	
	プライマーU-002T 0.2	ソフランシール141 1.6	ソフランシール141 1.0	TNトップ 0.2
UK-21	プライマーU-002T 0.2	ソフランシール152 2.1	TNトップ 0.2	
UK-28	プライマーU-002T 0.2	ソフランシール152 2.8	TNトップ 0.2	
	プライマーU-002T 0.2	ソフランシール152 1.4	ソフランシール152 1.4	TNトップ 0.2
UV-28	プライマーU-002T 0.2	ソフランシール163 1.4	ソフラントップ163 1.4	TNトップ 0.2

注意事項

- 1回塗りの工程の場合は、ソフランシールの硬化を必ず確認してください。
- 平場部の防滑シート敷設および防滑用の接着剤塗布は、別途工事となります。
- 必要に応じて入隅部にクロス補強を行う場合があります。
- 立上り部および巾木・側溝部のみのウレタン防水施工による床面の防水工事保証は致しておりません。
- 防滑シートにつきましては、防滑シートメーカーのカタログを参照してください。

[抜粋]ウレタンゴム系塗膜防水仕様

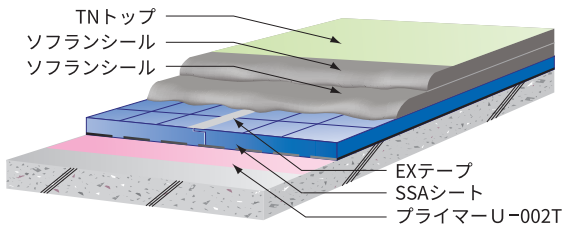
単位：塗布量 (kg/m²)

工 程	1	2	3	4	5
X-1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り ^{注5}	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	仕上塗料塗り ^{注6}	—
	0.3	3.0 ^{注1注4}		—	—
X-2	プライマー塗り	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り 補強布張り	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	仕上塗料塗り ^{注6}
	0.2	0.3 ^{注1}	2.7 ^{注1(1.7注2注4)}		—

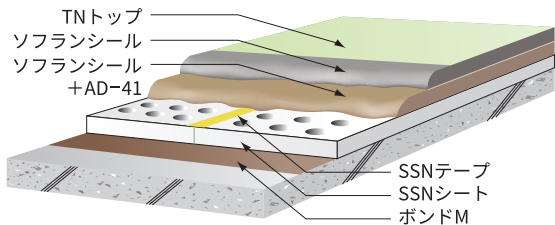
注1. 表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物密度が1.0Mg/m²である材料の場合を示しており、硬化物密度がこれ以外の場合にあっては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
2. 立上り部は全て、種別 X-2とし、工程3及び工程4を（ ）内とする。
3. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りについては、1工程あたりの使用量を、硬化物密度が1.0Mg/m²である材料の場合、平場は2.0kg/m²、立上りは1.2kg/m²を上限として変更することができる。
4. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りは2回以上に分割して塗り付ける。
5. 接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料の製造所の仕様による。
6. 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、主材料の製造所の仕様による。

ソフランシール対応工法(X-1仕様対応)

SSA-X-1工法



SSN-X-1工法



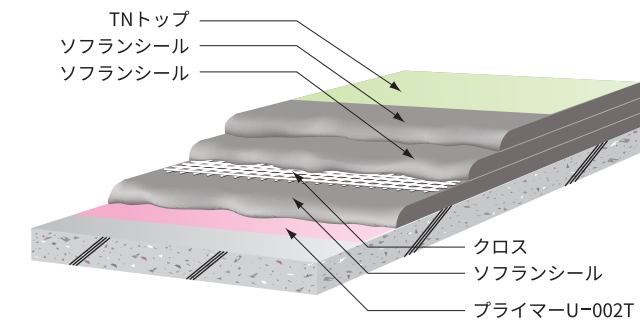
単位：塗布量 (kg/m²)

工 程	1	2	3	4	5
SSA-X-1N	プライマーU-002T	SSAシート	ソフランシール141	ソフランシール141	TNトップ
	0.2	—	2.0	1.9	0.2
SSN-X-1N	ボンドM	SSNシート	ソフランシール141 AD-41(P7参照)	ソフランシール141	TNトップ
	0.3	—	1.5	2.4	0.2

※仕上塗料の種類及び塗布量は、特記による。特記がなければ、使用目的に応じて選択する。(TNトップの場合は、0.2kg/m²とする。)

ソフランシール対応工法 (X-2仕様対応)

X-2工法 ※使用材料により塗布量が異なります。



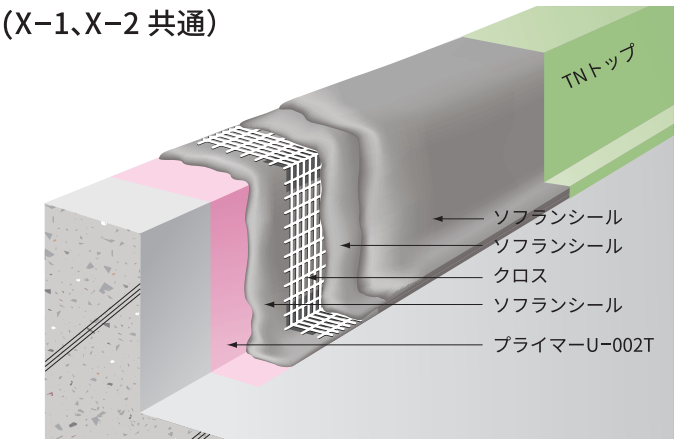
単位：塗布量 (kg/㎡)

工 程	1	2	3	4	5	6
X-2N	プライマーU-002T 0.2	ソフランシール141 0.4	クロス —	ソフランシール141 2.0	ソフランシール141 1.5	TNトップ 0.2
X-2K	プライマーU-002T 0.2	ソフランシール152 0.5	クロス —	ソフランシール152 2.0	ソフランシール152 1.7	TNトップ 0.2

※仕上塗料の種類及び塗布量は、特記による。特記がなければ、使用目的に応じて選択する。（TNトップの場合は、0.2kg/㎡とする。）

ソフランシール対応工法 (X-1、X-2共通立上り仕様対応)

X-2V工法 (立上り)
(X-1、X-2 共通)



単位：塗布量 (kg/㎡)

工 程	1	2	3	4	5	6
X-2V (立上り)	プライマーU-002T 0.2	ソフランシール163 0.5	クロス —	ソフランシール163 1.2	ソフランシール163 1.1	TNトップ 0.2

※仕上塗料の種類及び塗布量は、特記による。特記がなければ、使用目的に応じて選択する。（TNトップの場合は、0.2kg/㎡とする。）

注意事項

- X-1、X-2の詳細については、公共建築工事標準仕様書・公共建築改修工事標準仕様書を参照願います。
- SSN-X-1N工法は、ソフランシール141+AD-41に替えてソフランシール152の使用も可能ですが、工程が増えますので事前にご相談ください。
- X-1仕様では脱気筒を50㎡に1箇所設置してください。
- 使用量は、下記表の硬化物密度を用いて使用量を計算しています。

製品名	ソフランシール141	ソフランシール163	ソフランシール152
硬化物密度 (Mg/㎡)	1.3	1.4	1.4

ソフランシール工法

工法ごとの詳細な施工方法につきましては施工要領書をご確認ください。



◎下地の確認

- 下地が十分に乾燥していることを確認します。
- 劣化部は、デッキブラシ、ポリッシャー、皮スキ等を用いて除去します。
- 下地凹凸は、ポリマーセメントモルタルまたはポリマーセメントペーストで平滑に仕上げます。
- 下地の清掃を行ない、ホコリ・油脂・サビ等の汚れは、除去します。
- パイプ回り、ドレン回りは入念に清掃し、下地に強固に取り付けてあることを確認します。

SSA SSN UNC UN
UKC UK
UVC UV



◎プライマーの塗布

- プライマーをローラーバケ、手ハケ等を用いて塗りムラがないように塗布します。
- プライマーの指触乾燥(指につかない)確認後、次工程に進みます。
- 下地の吸い込みが激しい場合は、プライマーの乾燥を確認後、もう一度塗布します。

SSA UNC UN
UKC UK
UVC UV



◎クロスの張付け

- 防水材を金コテ、ゴムヘラ等で塗布し、その上にクロスを敷設し、浮き・気泡・シワが残らないように張り付けます。
- クロスの重ね幅は、50mm以上とします。

UNC
UKC
UVC



◎通気緩衝シートの張付け

- SSAシートは、プライマーが乾燥していることを確認し、入隅線より100mm程度開けて張り付けます。(SSAシートの長辺部は、SSAシートの上側のシートの端末を下側の緑ラインに合わせて張り付け、ゴムローラーで転圧します。)
- SSNシートは入隅線から30mm程度開けてボンドMを下地に塗布しながら張り付けます(接合部は突き合せとし、SSNテープを張り付けます)。

SSA SSN



◎防水材の塗布

- 2液タイプの防水材は、配合比を守り、攪拌ムラがないように混合します。(攪拌時間:3~5分目安)
- 1缶の塗布量を計算しておき、金コテ等で防水材を均一に塗布します。
- 液が塗り重なる部分は、ムラがないように重ね塗りを行います。

SSA SSN UNC UN
UKC UK
UVC UV



◎保護仕上材の塗布

- TNトップを均一に混合します。(色むらが起こる場合がありますので入念に行います。)
- 液だれ、液たまりがしないように塗布方向を決めてローラーバケまたはハケで均一に塗布します。
- フィライト(骨材)を添加した液は、フィライトが沈降しやすいためローラーバケまたはハケで混ぜながら塗布します。

SSA SSN UNC UN
UKC UK
UVC UV

ソフランシール製品一覧表

品 名		特 性	標準荷姿		主 用 途
防水材	ソフランシール141	カラーウレタン防水材 2液反応硬化型(配合比 主剤1：硬化剤2) JISA6021 ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)一般用	主剤：6kg/角缶 硬化剤：12kg/角(丸)缶	主剤：8kg/角缶 硬化剤：16kg/角缶	密着工法用・通気緩衝工法用 複合通気緩衝工法用 断熱工法用防水材
	ソフランシール152	カラーウレタン防水材 2液反応硬化型(配合比 主剤1：硬化剤2) JISA6021 ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)一般用	主剤：6kg/角缶 硬化剤：12kg/角缶		中間粘度品 密着工法用・SSN 止め用防水材
	ソフランシール163	カラーウレタン防水材 2液反応硬化型(配合比 主剤1：硬化剤2) JISA6021 ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)立上り用	主剤：6kg/角缶 硬化剤：12kg/角缶		密着工法用・立上り工法用防水材 SSN 止め用防水材
プライマー & 接着剤	プライマーU-002T	ウレタン系プライマー(溶剤系1液湿気硬化型)	15kg/角缶		一般コンクリート、モルタル下地用、 SSAシート用プライマー
	プライマーU-002Tα	ウレタン系プライマー(溶剤系1液湿気硬化型)増膜タイプ	15kg/角缶		一般コンクリート、モルタル下地用、 SSAシート用プライマー
	プライマーU-006	ウレタン系プライマー(溶剤系1液湿気硬化型)	4kg/角缶		塗り重ね(層間用)・ 既存ウレタン塗り重ね用・塩ビ下地用
	プライマーU-011	ウレタン系プライマー(溶剤系1液湿気硬化型)	16kg/角缶		YN トップ用前処理材
	プライマーU-015	ウレタン系プライマー(溶剤系1液湿気硬化型)	A液：0.2kg/丸缶 B液：3kg/角缶		ゴムシート下地用
	プライマーME	ウレタン系プライマー(溶剤系1液湿気硬化型)	4kg/角缶		金属下地用(アルミ、ステンレス、トタン、鉄、鉛)
	プライマーPW	ウレタン系プライマー(弱溶剤系1液湿気硬化型)	16kg/角缶		RC、モルタル下地用 TXフリー弱溶剤プライマー
	ボンドM	ウレタン系接着剤(溶剤系1液湿気硬化型)	18kg/角缶		通気緩衝工法(SSN)用接着剤
	ボンド550	ウレタン系接着剤 2液反応硬化型(無溶剤型) 配合比 主剤1：硬化剤1	主剤：5kg/角缶 硬化剤：5kg/角缶		断熱工法(DS)用接着剤
	クッションマットボンド	ウレタン系接着剤(溶剤系1液湿気硬化型))	5kg/角缶		クッションマット用接着剤
保護仕上材	TNトップ	アクリルウレタン系保護仕上材 2液反応硬化型溶剤系(配合比 主剤1：硬化剤2)	主剤：5kg/角缶 硬化剤：10kg/角缶		保護仕上材 一般用、骨材別添タイプ
	TLSトップ	アクリルシリコン系保護仕上材 2液反応硬化型弱溶剤系(配合比 主剤2：硬化剤3)	主剤：6kg/角缶 硬化剤：9kg/角缶		保護仕上材弱溶剤タイプ、超耐候塗料 骨材別添タイプ
	TN-Hトップ	特殊耐候材(HALS)入りアクリルウレタン系保護仕上材 2液反応硬化型溶剤系(配合比 主剤1：硬化剤2)	主剤：5kg/角缶 硬化剤：10kg/角缶		保護仕上材、超耐候・高反射塗料 骨材別添タイプ
	YNトップ	アクリル樹脂無機質系保護仕上材 1液性(水性系)	20kg/角缶		保護仕上材(珪砂入り) 軽歩行用
	200シルバー	ウレタン系シルバー保護仕上材 1液性(油性系)	16kg/角缶		保護仕上材 非歩行用
	クッションマット	透水性 EPDM ゴムチップマット	5/7/10/15mm厚×1000mm幅×5m長/巻		保護仕上材、一般用ゴムチップマット
副資材	クロスGS	補強布 ガラスクロス	0.19mm厚×1040mm幅×100m長/巻		補強・膜厚確保用クロス
	クロスPC	補強布 ポリエステルクロスタイプ	0.35mm厚×1020mm幅×50m長/巻		補強・膜厚確保用クロス
	GSテープ	粘着剤付ガラスクロス補強テープ	100mm幅×50m長		端末処理・補強テープ
	SSNシート	穴あきポリエステル不織布シート	1.6mm厚×1000mm幅×50m長/巻		通気緩衝工法(SSN)用通気緩衝シート
	SSAシート	特殊フィルム / 不織布改質アス含浸 / 自着層付シート	1.4mm厚×1040mm幅×15.7m長/巻		複合通気緩衝工法(SSA)用通気緩衝シート
	SSNテープ	粘着材付ポリエステルクロステープ	低密度部：0.28mm厚×50mm幅×50m長/巻 高密度部：0.33mm厚		通気緩衝工法(SSN)用ジョイントテープ
	EXテープ	粘着剤付ポリエステルフィルムテープ	0.05mm厚×50mm幅×50m長/巻		複合通気緩衝工法(SSA)用ジョイントテープ
	STテープ	特殊繊維フィルム / ブチル粘着剤付テープ	0.50mm厚×75mm幅×25m長/巻		複合通気緩衝工法(SSA)用端末処理テープ 断熱工法(DS)用補強テープ
	ベントSU	ステンレス製脱気筒	2個入/箱		通気緩衝・複合通気緩衝工法用脱気筒
	タイトA	アクリル樹脂系エマルジョン(水系)	18kg/角缶		カチオン系下地処理材
	AD-41	アמיד系増粘付与材	4kg/角缶		通気緩衝工法(SSN)用ソフランシール141 目止材
	AD-15VN	含水非結晶二酸化ケイ素増粘付与剤	15kg/袋		ソフランシール用増粘材
	AD-100C	ウレタン防水材用硬化促進剤	1kg/角缶、15kg/角缶		ソフランシール141,152,163 硬化促進剤
	ウレタン専用希釈剤	トルエン混合物	16ℓ/角缶		希釈剤
	ポリウレタンフォーム断熱材	特殊面材付ポリウレタンフォーム	25,30,35,50mm厚×605mm×910mm (受注生産)		断熱工法(DS)用断熱材 アキレス社製 アキレスボード GF ノンフロン
	水切りテープ	ガラス繊維(粘着剤付) 剥離フィルム(PP 透明セバ)	50mm幅×50m長/巻		パラベットアゴ下水水切りテープ

ソフランシール製品物性値・消防法規制

試 験 項 目			JISA6021:2011 建築用塗膜防水材 ウレタンゴム系 高伸長形(旧 1 類)	ソフランシール 141(一般用)		ソフランシール 152(一般用)		ソフランシール 163(立上り用)		
液特性	構 成		－	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤	
				3 シーズンタイプ		2 シーズンタイプ		2 シーズンタイプ		
	混合比(配合比＝主剤：硬化剤)		－	1：2		1：2		1：2		
	外 観		－	淡黄色 透明液体	グレー 粘稠液体	淡黄色 透明液体	グレー ペースト状	淡黄色 透明液体	青緑色 ペースト状	
				粘度(mPa・s/25℃)	－	6500	9000	9500	ペースト状	9500
	可使時間 (25℃)		－	夏用90分・冬用55分		夏用90分・冬用45分		夏用100分・冬用45分		
引張性能	引張強さ(N/ mm ²)	試験時温度 23℃	2.3 以上	3.9		5.9		6.6		
		試験時温度 ー20℃	2.3 以上	11.0		14.0		15.0		
		試験時温度 60℃	1.4 以上	2.7		4.3		4.4		
	破断時の伸び率(%)	試験時温度 23℃	450 以上	730		670		720		
	抗張積(N/ mm)	試験時温度 23℃	280 以上	570		780		950		
	破断時のつかみ間の伸び率(%)	試験時温度 23℃	300 以上	460		480		540		
		試験時温度 ー20℃	250 以上	550		580		530		
		試験時温度 60℃	200 以上	330		350		360		
	引裂性能		引裂強さ (N/ mm)	14 以上	17		21		21	
	加熱伸縮性能		伸縮率(%)	－4.0 以上 1.0 以下	－0.3		－0.2		－0.3	
劣化処理後の引張性能	引張強さ比(%)	加熱処理	80 以上	120		100		85		
		促進暴露処理	60 以上	92		88		89		
		アルカリ処理	60 以上	100		100		95		
		酸処理	80 以上	92		81		80		
	破断時の伸び率(%)	加熱処理	400 以上	800		740		700		
		促進暴露処理	400 以上	720		710		690		
		アルカリ処理	400 以上	760		700		730		
		酸処理	400 以上	730		650		663		
伸び時の劣化性状		加熱処理	いずれの試験片にも ひび割れ及び著しい変形が あってはならない	異常なし		異常なし		異常なし		
		促進暴露処理		異常なし		異常なし		異常なし		
		オゾン処理		異常なし		異常なし		異常なし		
たれ抵抗性能		たれ長さ(mm)	いずれの試験体も 3.0 以下	－		－		0		
		しわの発生	いずれの試験体にも あってはならない	－		－		しわ発生なし		
固形分(%)			表示値 ±3.0	99	99	99	97	99	98	
硬化物密度(Mg/ m ³)			表示値 ±0.1	1.3		1.4		1.4		

注) ●上記数値は、測定値(平均値)であり、保証値ではありません。
●液特性の時間に関する数値は、気温・湿度等により変化する場合があります。

製品名	危険物・指定可燃物分類	危険等級	引火点	指定数量
プライマーU-002T(α)、U-006、U-011、U-015、ME、PW、ボンドM、TNトップ硬化剤、TN-Hトップ硬化剤、200シルバー、ウレタン専用希釈剤	4 類第一石油類	Ⅱ	21°C未満	200L
TNトップ主剤、TN-Hトップ主剤、TLSトップ主剤、TLSトップ硬化剤、AD-41	4 類第二石油類	Ⅲ	21°C以上、70°C未満	1000L
ソフランシール141硬化剤、ボンド550主剤、ボンド550硬化剤	4 類第四石油類	Ⅲ	200°C以上、250°C未満	6000L
ソフランシール141主剤、152主剤、163主剤	指定可燃物可燃性液体類	—		2 m ³
ソフランシール163硬化剤	指定可燃物可燃性固体類	—		3000kg
クッションマットボンド	2 類(引火性固体)	—		1000kg
ソフランシール152硬化剤、YNトップ	非危険物	—		—
AD-100C	4 類第三石油類	Ⅲ	70°C以上、200°C以下	2000L

ソフランシール製品紹介

ウレタン塗膜防水材



ソフランシール141

- ・F☆☆☆☆ 対応品 登録番号「NUK-F06025」
- ・JISA 6021 ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)一般用
- ・1：2配合のカラーウレタン防水材です。
- ・色調：グレー
- ・硬化物密度：1.3Mg/m³
- ・荷姿：主剤6kg/角缶、硬化剤12kg/角缶(18kg/セット)
主剤8kg/角缶、硬化剤16kg/角缶(24kg/セット)
主剤6kg/角缶、硬化剤12kg/丸缶(18kg/セット)(受注生産品)



ソフランシール152

- ・F☆☆☆☆ 対応品 登録番号「NUK-F12671」
- ・JISA 6021 ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)一般用
- ・1：2配合のカラーウレタン防水材です。
- ・色調：グレー
- ・硬化物密度：1.4Mg/m³
- ・荷姿：主剤6kg/角缶、硬化剤12kg/角缶(18kg/セット)
- ・ソフランシール141とソフランシール163の中間的な粘度設定品です。
- ・側溝・巾木・パラペット等の部位への施工を推奨します。



ソフランシール163

- ・F☆☆☆☆ 対応品 登録番号「NUK-F06026」
- ・JISA 6021 ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)立上り用
- ・1：2配合のカラーウレタン防水材です。
- ・色調：青緑色
- ・硬化物密度：1.4Mg/m³
- ・荷姿：主剤6kg/角缶、硬化剤12kg/角缶(18kg/セット)

プライマー・接着剤



プライマーU-002T

- ・F☆☆☆☆ 対応品 登録番号「NUK-F06024」
- ・1液湿気硬化型ウレタン系プライマーです(浸透タイプ)。
- ・一般コンクリート、モルタル下地用
- ・複合通気緩衝工法(SSA)用プライマー
- ・標準塗布量：0.2kg/m²
- ・荷姿：15kg/角缶



プライマーU-002Tα

- ・F☆☆☆☆ 対応品 登録番号「NUK-F10540」
- ・1液湿気硬化型ウレタン系プライマーです(造膜タイプ)。
- ・一般コンクリート、モルタル下地用
- ・複合通気緩衝工法(SSA)用プライマー
- ・標準塗布量：0.2kg/m²
- ・荷姿：15kg/角缶



プライマーU-006

- ・F☆☆☆☆ 対応品 登録番号「NUK-F06127」
- ・1液湿気硬化型ウレタン系プライマーです。
- ・塗り重ね(層間)用 既存ウレタン塗膜防水・塗り重ね改修用 塩ビ下地用
- ・標準塗布量：0.1kg/m²
- ・荷姿：4kg/角缶



プライマーU-011

- ・F☆☆☆☆ 対応品 登録番号「NUK-F07149」
- ・1液湿気硬化型ウレタン系プライマーです。
- ・YNトップ仕上の前処理用プライマー
- ・標準塗布量：0.1kg/m²
- ・荷姿：16kg/角缶



プライマーU-015

- ・2液反応硬化型クロロプレンゴム系プライマーです。
- ・ゴムシート下地用
- ・標準塗布量：0.1kg/m²
- ・荷姿：A液0.2kg/丸缶、B液3kg/角缶(3.2kg/セット)

※既設ゴムシート下地用にチョーキングが生じている場合や、下地との密着性が損なわれている場合は使用しないでください。



プライマーME

- ・F☆☆☆☆ 対応品 登録番号「NUK-F12686」
- ・1液湿気硬化型ウレタン系プライマーです。
- ・金属下地用
- ・標準塗布量：0.1kg/m²
- ・荷姿：4kg/角缶
- ・受注生産

<下地適応表>

ステンレス	○	鉛	○
鉄	○	トタン(亜鉛メッキ鋼板)	○
アルミニウム	○		

※必ず錆、油分を除去し、表面をサンダー等で目荒らし処理してください。



プライマーPW

- ・F☆☆☆☆ 対応品 登録番号「NUK-F06079」
- ・弱溶剤タイプの1液湿気硬化型ウレタン系プライマーです。
- ・一般コンクリート、モルタル下地用
- ・標準塗布量：0.2kg/m²
- ・荷姿：16kg/角缶

ソフランシール製品紹介



ボンドM

- ・F☆☆☆☆ 対応品 登録番号「NUK-F07150」
- ・1液湿気硬化型ウレタン系接着剤です。
- ・通気緩衝工法 (SSN) 用接着剤
- ・標準塗布量：0.3 kg/m²
- ・荷姿：18 kg/角缶



ボンド550

- ・F☆☆☆☆ 対応品 登録番号「NUK-F06029」
 - ・2液反応硬化型ウレタン系接着剤です。
 - ・無溶剤タイプ
 - ・断熱工法 (DS) 用接着剤
 - ・標準塗布量：1.0 kg/m²
 - ・荷姿：主剤 5 kg/角缶、硬化剤 5 kg/角缶 (10 kg/セット)
 - ・受注生産
- ※クシ目コテが別途必要となります。



クッションマットボンド

- ・1液湿気硬化型ウレタン系接着剤です。
- ・クッションマット仕上用接着剤
- ・標準塗布量：0.6 kg/m²
- ・荷姿：5 kg/角缶

保護仕上剤



TNトップ

- ・F☆☆☆☆ 対応品 登録番号「NUK-F06027」
- ・2液反応硬化型アクリルウレタン系保護仕上材です。
- ・ファイライト (骨材) を別添することにより粗面仕上にすることができます。
- ・一般用
- ・色調 (8色)：ライトグレー・パールグレー・パールブラウン・ブラウン・ライトアイボリー・ライトベージュ・リーフグリーン・グレー
- ・半艶品の対応が可能です (受注生産)。
- ・標準塗布量：0.2 kg/m²
- ・荷姿：主剤 5 kg/角缶、硬化剤 10 kg/角缶 (15 kg/セット)
(ファイライト (骨材)：250g/袋)



TLSトップ（高耐候塗料）

- ・F☆☆☆☆ 対応品 登録番号「NUK-F13750」
- ・2液反応硬化型弱溶剤タイプのアクリルシリコン系保護仕上材です。
- ・フィライト（骨材）を別添することにより粗面仕上することができます。
- ・色調（8色）：ライトグレー・パールグレー・パールブラウン・ブラウン・ライトアイボリー・ライトベージュ・リーフグリーン・グレー
- ・標準塗布量：0.2kg/㎡
- ・荷姿：主剤6kg/角缶、硬化剤9kg/角缶（15kg/セット）
（フィライト（骨材）：250g/袋）



TN-Hトップ（高耐候・高反射塗料）

- ・F☆☆☆☆ 対応品 登録番号「NUK-F09462」
- ・2液反応硬化型特殊耐候剤（HALS）入りアクリルウレタン系保護仕上材です。
- ・フィライト（骨材）を別添することにより粗面仕上することができます。
- ・高耐候・高反射塗料
- ・色調（6色）：ホワイトライトグレー・ホワイトパールグレー・ホワイトグリーン・ホワイトブルー・ホワイトベージュ・ホワイトブラウン
- ・標準塗布量：0.3kg/㎡（0.15kg/㎡×2回塗り）
- ・荷姿：主剤5kg/角缶、硬化剤10kg/角缶（15kg/セット）
（フィライト（骨材）：250g/袋）

※特注色の対応も可能ですが、その場合は「超耐候」性能のみとなり
「高反射遮熱」性能は特注色にはありません。



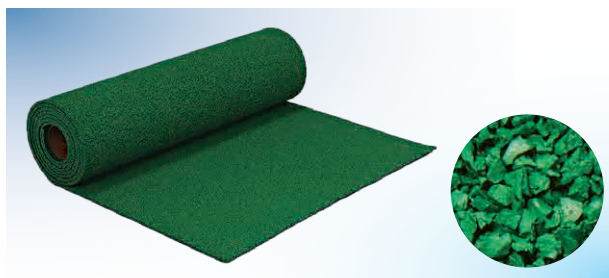
YNトップ

- ・アクリル樹脂無機系保護仕上材です。
 - ・1液の珪砂入り水性タイプ
 - ・軽歩行用
 - ・色調（2色）：グレー・グリーン
 - ・標準塗布量：1.0kg/㎡（0.5kg/㎡×2回塗り）
 - ・荷姿：20kg/角缶
- ※前処理としてプライマーU-011を0.1kg/㎡塗布します。



200シルバー

- ・ウレタン系保護仕上材です。
- ・1液の油性タイプ
- ・非歩行用
- ・色調：シルバー
- ・標準塗布量：0.2kg/㎡
- ・荷姿：16kg/角缶

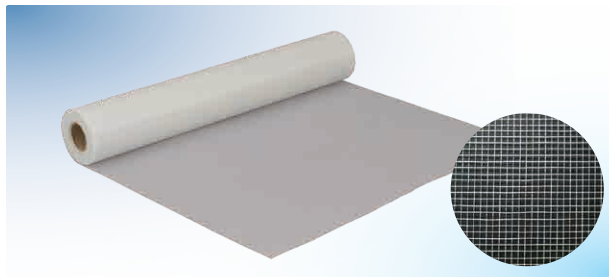


クッションマット

- ・長尺の透水性EPDMゴムチップマットです。
 - ・歩行用
 - ・色調（5色）：レンガ・グリーン・グレー・ブラウン・ブラック
 - ・荷姿：5 / 7 / 10 / 15mm厚×1000mm幅×5m長/巻
- ※色調により経年で色落ちする場合があります。

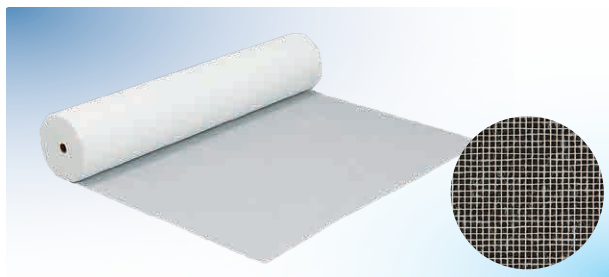
ソフランシール製品紹介

副資材関連（通気緩衝シート・テープ類）



クロスGS

- ・防水材補強用・膜厚確保用のガラス繊維クロスです。
- ・一般部 平面・立上り共用
- ・荷姿：1040mm幅×100m長/巻



クロスPC

- ・防水材補強用・膜厚確保用のポリエステル繊維クロスです。
- ・一般部 平面・立上り共用
- ・荷姿：1020mm幅×50m長/巻



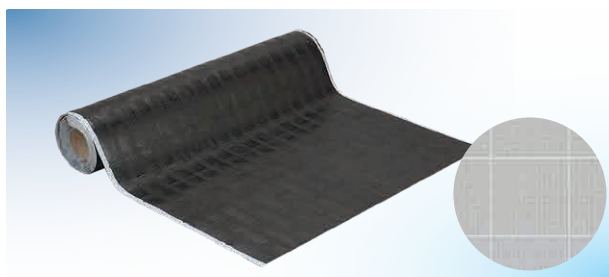
GSTape

- ・防水材補強用・膜厚確保用テープ状粘着剤付ガラス繊維クロスです。
- ・通気緩衝工法 (SSN) 端末補強用
- ・複合通気緩衝工法 (SSA) 端末・短辺接合部補強用
- ・出入隅部・脱気筒・ドレン回り補強用
- ・荷姿：100mm幅×50m長



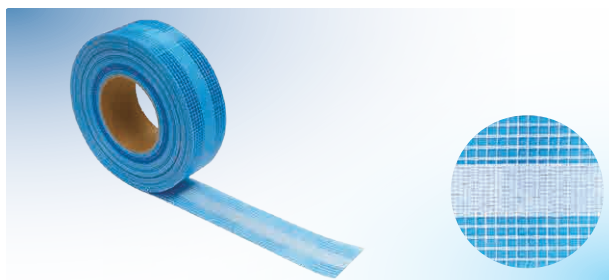
SSNシート

- ・SSN工法用の通気緩衝シートです。
- ・穴あきポリエステル不織布シート
- ・通気量：190ml/min
- ・荷姿：1.6mm厚×1000mm幅×50m長/巻



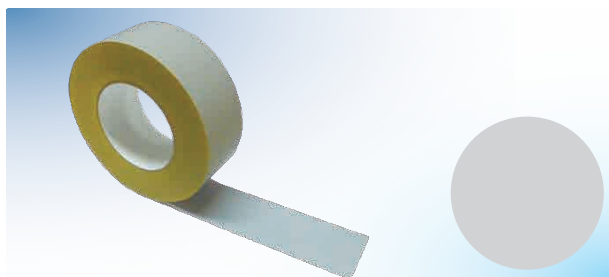
SSAシート

- ・SSA工法用の複合通気緩衝シートです。
- ・特殊フィルム+改質アスファルト系自着層付シート
- ・通気量：200ml/min
- ・荷姿：1.4mm厚×1040mm幅×15.7m長/巻



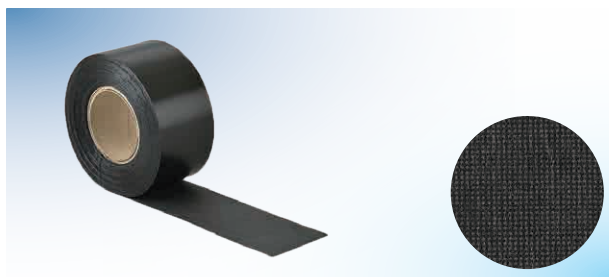
SSNテープ

- ・SSN工法用の通気緩衝シート用接合テープです。
- ・粘着剤付ポリエステルクロステープ
- ・荷姿：50mm幅×50m長/巻



EXテープ

- ・SSA工法用の複合通気緩衝シート用接合テープです。
- ・長辺部・短辺部に使用します。
- ・粘着剤付ポリエステルフィルムテープ
- ・荷姿：50mm幅×50m長/巻



STテープ

- ・SSA工法用の複合通気緩衝シート端末部補強用テープです。
- ・DS工法用のウレタンボードの接合テープ
- ・ブリード防止層付ブチルゴムテープ
- ・荷姿：75mm幅×25m長/巻



ベントSU

- ・ステンレス製脱気筒です。
- ・標準設置数：50㎡/1箇所
- ・荷姿：2個/箱(脱気筒本体・プラグレスアンカー補強クロス付)



水切りテープ

- ・パラペットアゴ下水切りテープです。
- ・ガラス繊維(粘着剤付)
- ・剥離フィルム(PP透明セバ)
- ・荷姿：50mm幅×50m長

ソフランシール製品紹介

副資材関連（下地調整材・増粘剤・添加剤類）



タイトA

- ・アクリル樹脂系の下地調整材です。
- ・セメント・水・珪砂を添加しポリマーセメントモルタル・ポリマーセメントペーストを作り下地調整を行います。
- ・荷姿：18kg/角缶

< 配合表(例)>

材料名	タイトA	セメント	珪砂	水	施工面積
セメントペースト	18	40	—	14	120～200m ²
セメントモルタル(1mm)	18	40	80	14	50～60m ²



AD-41

- ・SSN工法用のソフランシール141目止め専用液体増粘剤です。
- ・ソフランシール141硬化剤に主剤を投入後AD-41を添加し攪拌混合します。
- ・荷姿：4kg/角缶

< 配合表(例)>

ソフランシール 141	18kgセット	24kgセット
AD-41(硬化剤に対し 2%)	240g	320g



AD-15VN

- ・ソフランシール141用の粘度調整・垂れ止め剤です。
- ・ソフランシール141の重量比2～4%を投入し攪拌混合します。
- ・荷姿：15kg/袋

< 配合表(例 :2%投入)>

ソフランシール 141(主剤、硬化剤)	18kgセット	24kgセット
AD-15VN	360g	480g



AD-100 C

- ・ソフランシール 141・152・163 の硬化促進剤です。
- ・あらかじめソフランシール硬化剤に AD-100 C を投入し攪拌後、主剤を投入し攪拌混合します。
- ・荷姿：1kg/角缶 15kg/角缶

< 配合表(例) >

ソフランシール	#141・#152・#163	#141
	18kgセット	24kgセット
AD-100C(1%添加)	120g	160g
AD-100C(2%添加)	240g	320g

※気温等により投入量は増減します(上限2%まで)。



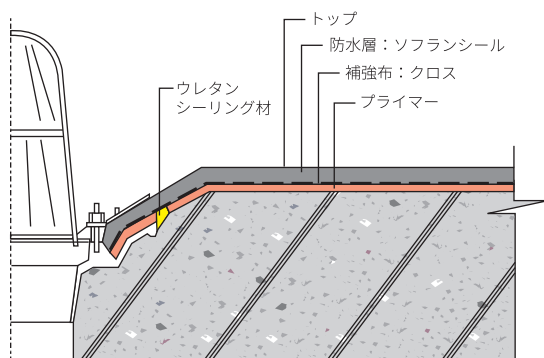
ウレタン専用希釈剤

- ・ソフランシール専用の希釈剤です。
- ・投入量は重量比5%を上限とし、それ以上は投入しないでください。
- ・荷姿：16ℓ/角缶

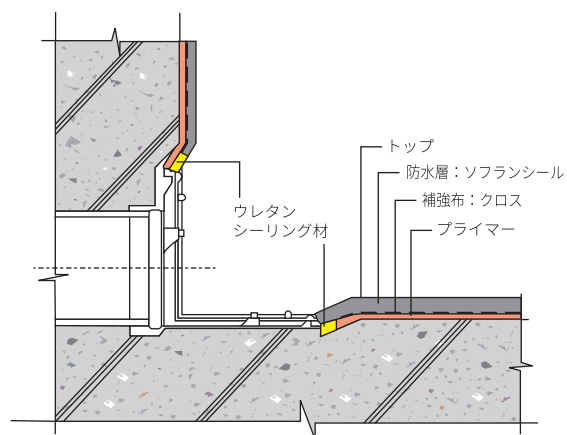
ソフランシール標準納まり例

納まり図

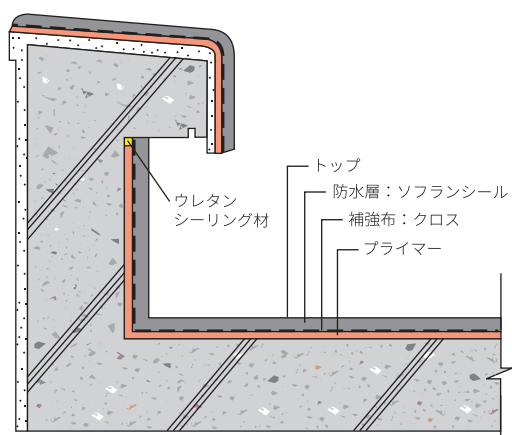
縦引きドレン回り



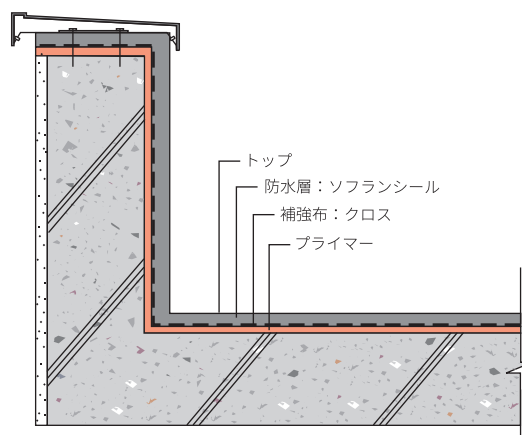
横引きドレン回り



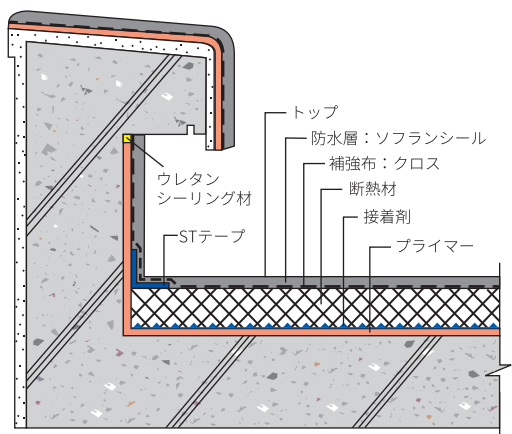
パラペット(立上り)



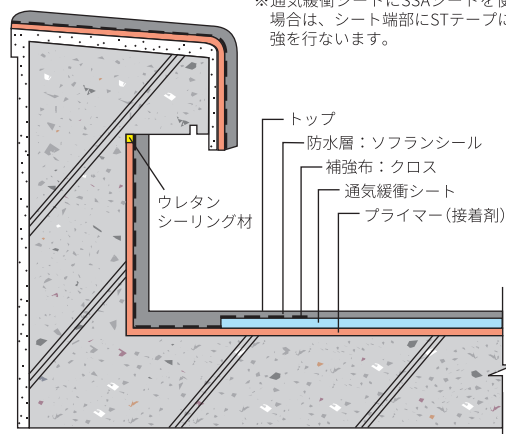
パラペット(笠木)



パラペット(断熱工法)

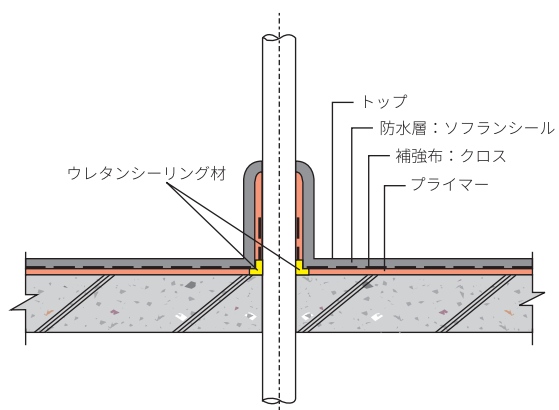


パラペット(通気緩衝工法)

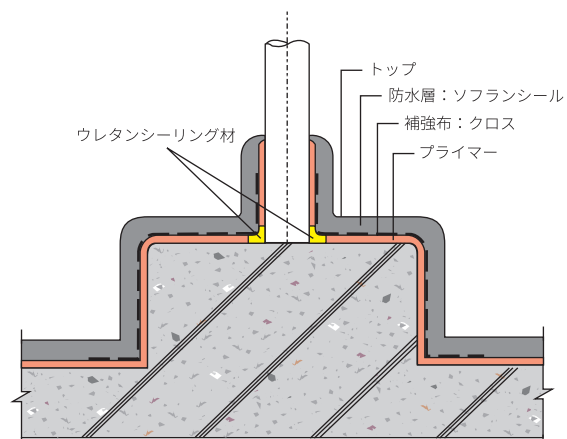


※通気緩衝シートにSSAシートを使用する場合は、シート端部にSTテープによる補強を行ないます。

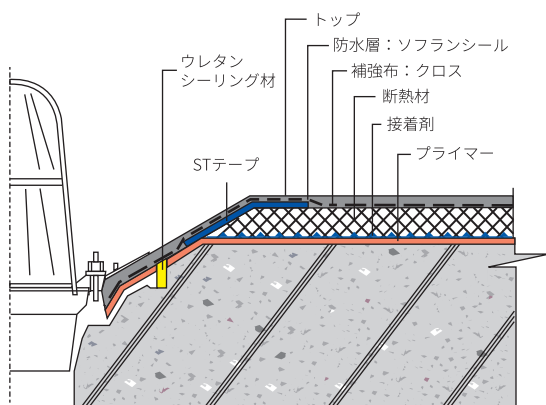
貫通パイプ回り



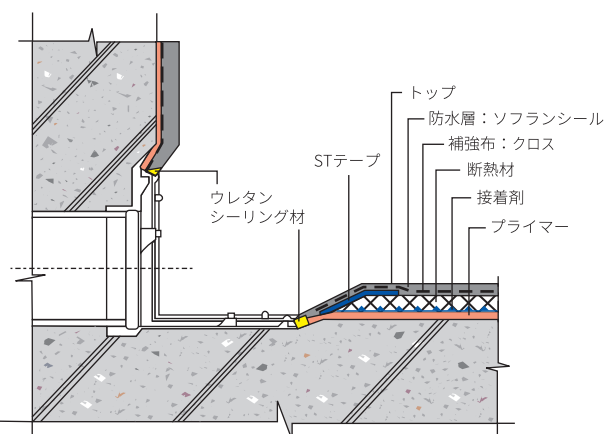
架台回り



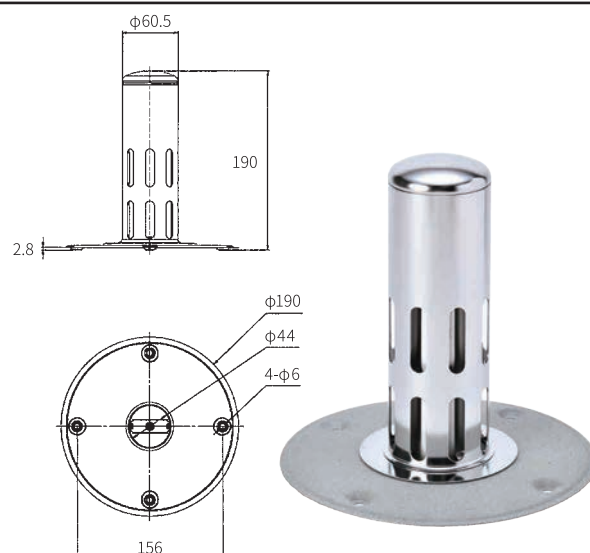
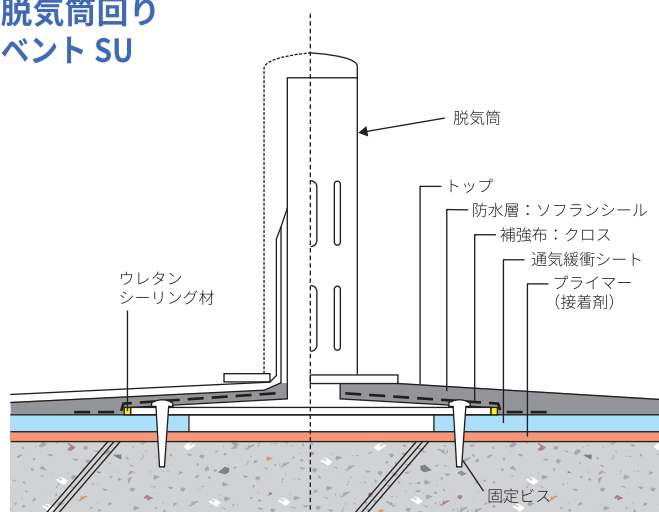
縦引きドレン回り(断熱工法)



横引きドレン回り(断熱工法)



脱気筒回り ベント SU



設計上の注意事項（防水業者とご相談ください）

- 防水以外の目的で使用される場合は、使用目的を事前に防水業者とよく打ち合わせて、仕様を決定してください。
- 下地（デッキプレート、PCa、コンクリート等）の動きにより防水層にクラックやひび割れが入る場合がありますので、事前に構造等について防水業者とよく打ち合わせて仕様を決定してください。
- 下地の状態により防水層の仕上に影響を与えたり、下地が乾燥しにくい構造（デッキプレートコンクリート仕上げ、ポーラスな軽量コンクリート・改修工事=既設保護層を撤去しない場合）や工期が短く乾燥時間が十分に取れない場合などでは、防水層にフクレ等の不具合を生じることがあり、密着工法から通気緩衝工法に仕様変更を必要とする場合があります。事前に防水業者とよく打ち合わせて仕様を決定してください。
- 押えコンクリートや水分の多い下地、動きのある下地（デッキプレート、PCa等）への防水施工は、通気緩衝工法や複合通気緩衝工法の仕様を選定してください。
- 下地は、コンクリートあるいはモルタル下地(金コテ仕上)とし、平滑で浮き・突起物などの欠損、エフロレッセンスのないようにしてください。新設の場合は、1ヶ月以上乾燥養生してください(下地は鏡面仕上にしないでください)。
- 貫通パイプ・ドレン等は、堅固に取り付け、下地と一体化させてください。
- ドレン部は、防水層の増塗りが必要です。増塗りしても排水できるように低めに勾配をつけてください。
- 横引きドレンについては、下金まで防水材を塗布する場合があります。ドレンの蓋と下金との納まりが約3mm以上余裕のあるものを選定してください。
- 出入隅の形状は、出隅は丸面あるいは面取りを必ず行ってください。入隅は直角とします。
- 下地の勾配は、1/100～1/20にしてください。
- 立上り途中で防水層を止める場合は、必ず水切りを設置してください。

施工上の注意事項（事前に施工要領書・各材料説明書等をお読みください）

＜天候について＞

- ① 降雨、降雪時または降雨、降雪が予想される場合や降雨・降雪後、下地が未乾燥の場合は、施工を中止してください。
- ② 標準施工温度は10～35℃とします。最低施工温度は5℃です。温度が低い場合は、硬化が遅くなりますので、必要に応じて硬化促進剤を使用してください。
- ③ 湿度が80%以上を越える場合は、施工を中止してください。

＜下地について＞

- ① 下地は、十分に乾燥させてください。
- ② 下地のクラックは、Uカットしてポリマーセメントモルタル、ポリマーセメントペースト、またはポリウレタン系シーリング材を充填してください。
- ③ 下地の突部や突起物は、サンダー等を用いて平滑にしてください。
- ④ 下地の素穴やへこみなどは、ポリマーセメントモルタル、ポリマーセメントペーストを用いて平滑にしてください。
- ⑤ レイタンスや表面強度のない下地は、サンダー・ケレン棒を用いて削り、強固な下地を出すか、下地調整材を用いて強固な下地を作ってください。

＜作業環境について＞

- ① 施工において、周囲では火気を使用しないでください。
- ② 室内の施工においては、十分換気に注意してください。換気の悪い場所では、有機溶剤用防毒マスク等を着用して適切に換気処置を取ってください。
- ③ 混合・攪拌する際は、保護マスクを着用し、皮膚に付かないように保護手袋や、眼に入らないように保護眼鏡を着用してください。
- ④ 施工後は、硬化するまで立入禁止としてください。

＜施工上の注意＞

- ① 配合比率を厳守し、適切な工具を用いて施工してください。
- ② 混合容器の底部に付着した混合液は、混合が十分でない場合があります。そのままき出して使用せず、十分に攪拌し直すか、または使用を控えてください。
- ③ ウレタン専用希釈剤を使用する場合は、5%（重量比）以内としてください。
- ④ 防水材の施工後、ピンホールやフクレ等は、工程毎に補修処理をしてください。
- ⑤ 攪拌混合した材料は、硬化が進み増粘しますので、速やかに使用してください。夏場は、特に硬化が早くなりますのでご注意ください。

維持管理上の注意事項

- ① 6ヶ月毎に屋根や防水層面の清掃を行ってください。特に排水口回りと入隅部分の泥や枯れ葉等を除去してください。
- ② 定期的に次のような点検を行ってください。異常が認められた場合は施工業者に連絡し補修を行ってください。
 - ☆保護塗料が薄くなっている箇所、ひび割れ箇所、剥離している箇所がないか。
 - ☆防水層に亀裂、フクレ、剥離が生じていないか。
- ③ 保護塗料は、防水層の劣化を抑制し美観の維持・向上に効果があります。防水層を長持ちさせるため、5年程度で保護塗料を塗り替えることをおすすめします（TNトップ、TLSトップは除く）。使用頻度により、保護塗料が著しく摩耗や損傷した場合は、都度塗り替えることをおすすめします。
- ④ 防水層の洗浄液には、家庭用中性洗剤以外の薬品は使用しないでください。酸・塩素系の洗剤は、防水層を変形・損傷させるおそれがあります。
- ⑤ 防水層の洗浄には、金属ブラシや金属タワシは使用しないでください。防水層に傷がついたり損傷するおそれがあります。柔らかい布やそうきんで清掃し、十分に乾燥してください。
- ⑥ 保護塗料は経年により、ツヤの消失、退色等が生じることがあります。また、保護塗料の変色、摩耗は防水保証の対象外となります。

防水層利用上の注意事項

- 防水層の上を歩行する際には、靴底の柔らかい履物を使用してください。防水層を傷つけるおそれのあるハイヒール、スパイク等の履物は、使用しないでください。
また、粗面仕上になっている場合は、つまずくおそれがありますので走らずに、歩行には注意してください。
- 防水層の表面がぬれているときは、滑りやすいので注意してください。また、バルコニー等でモルタル仕上から露出防水へ改修工事を行った場合には、降雨時の雨水が浸透せず防水層の上にたまり、自然乾燥するまでに時間がかかる場合があります。
- 防水層の上や付近では、花火やたき火等の火気を使用しないでください。飛び火によって防水層が燃焼、変質するおそれがあります。
- 防水層の上にタバコの投げ捨てやタバコの火種を落としたりしないでください。防水層が燃焼し変質して、穴が開き漏水するおそれがあります。
- 防水層の上に油・酸等の腐食性の液体や、化学薬品・ガソリン・灯油・塗料・溶剤・肥料等をこぼさないでください。また、ダクトや煙突からのミスト、油煙等の混じった排気のないようにしてください。防水層が変色・膨潤・劣化して防水機能を損なうおそれがあります。
- 防水層の上では、ペットの飼育をしないでください。動物の爪や歯で防水層に傷をつけ、汚物が防水層を劣化させるおそれがあります。

- 防水層の上に直接土を置き、植物を植えないでください。排水溝を詰まらせたり植物の根によって防水層を損傷させる場合があります。
- 防水層の上で激しい運動やゴルフの練習・自転車・一輪車等の運転をしないでください。タイヤや靴底のカットの荷重によって、防水層に損傷を与えるおそれがあります。
- 防水層の上には、運搬作業や設計時に予定した以外の重量物は置かないでください。重量物による防水層の変形や損傷のおそれがあります。
- 防水層の上に重量物やテーブル、椅子等を置いたりスノコ等を敷く場合は、接地部にゴム板などで保護・養生してください。ゴム板等で養生しないと、防水層に損傷を与えるおそれがあります。
- 防水層の上に重量物を落としたり、鋭角なもので傷つけないでください。防水層の変形や損傷のおそれがあります。
- 防水層の上で作業をする場合は、ベニヤ板等で養生してください。カッターナイフ等の使用は、防水層に損傷を与えるおそれがあります。避雷針・アンテナ・空調機器等を設置する場合は、防水層の上には直接設置せず、ゴム板等の下敷き材の上に設置してください。
- 防水層を新たに貫通させるような作業・機械機器の設置は、行わないでください。防水層に穴が開き、漏水するおそれがあります。釘やビス等の打ち込みは、行わないでください。

取扱い上の注意事項

- 製品は、「消防法」、「労働安全衛生法」、「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」並びに、それらの法規制を受けますのでこれらを理解し、安全に作業を行ってください（詳細については、P.18 項並びに各製品のSDSを参照願います）。
- 消防法上の危険物に該当する製品がありますので、取扱いを厳守し、保管管理をお願いします。
製品は、業務用に限定しておりますので、一般の方はご使用できません。防水施工は、専門業者にご依頼ください。
- 防水材、プライマー、接着剤等には、特定化学物質を含む製品があります。作業する場合は、特定化学物質作業主任者の講習を受けた方から作業主任者を選任してください。

<事故防止の注意事項>

- ① 火気厳禁とし、火気を近づけたり火気のある場所で使用しないでください。
- ② 取扱う場所には、必要に応じて局所排気装置を設置してください。
- ③ 取扱い中は、適切な保護具（防毒マスク、ホースラインマスク、メガネ、手袋等）を着用して作業を行ってください。

<応急処置>

- ① 眼に入った場合は、速やかに流水で15分間以上洗ってから眼科医の処置を受けてください。
- ② 皮膚に付着した場合は、大量の水とせっけんで洗い流し、また大量の蒸気を吸入した場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。
- ③ 飲み込んだ場合は、安静にし、直ちに医師の診断を受けてください。なお、無理に吐かせないでください。

<製品の使用上の注意事項>

- ① 製品を取扱う前に製品カタログ、安全データシート（SDS）等をよく読んで理解してから使用してください。
- ② 使用後の容器の潰し作業はあらかじめ養生してから行ってください。
- ③ 液がこぼれた場合は、ウエスでふき取るか、砂等で流出しないように吸い込ませ除去してください。
- ④ 主剤と硬化剤の混合比は、定められた配合比率を守ってください。他の製品と混合しての使用は、硬化不良の原因となります。
- ⑤ 小分けして使用する場合は、液を事前に攪拌混合してください。
- ⑥ 主剤と硬化剤等の混合作業は、電動攪拌機を使用して混合ムラがないように十分に攪拌混合を行ってください（3～5分間）。
- ⑦ 塗布作業は、金コテ・ゴムベラ等で均一に塗布してください。
- ⑧ 主剤と硬化剤を攪拌混合した液は、速やかに使用してください。
- ⑨ 作業着に付着した場合は、その汚れを落としてください。
- ⑩ 取扱い後は、手洗い、うがいを十分に行ってください。

<廃棄方法>

- ① 使用済みの空缶、材料の付着した手袋、ウエス、使用済みの溶剤等は、専門の廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- ② 容器内に出来るだけ液を残さないようにし、主剤と硬化剤とを混合して固めてから専門の廃棄物処理業者に委託して処理してください。

<保管方法>

- ① 消防法上の危険物は、法に従って保管してください。
- ② 危険物の保管には、数量により貯蔵の届け出、許可等の手続きが必要な場合があります。
- ③ 一定場所を定め、直射日光、雨の当たらないように保管してください。
- ④ 保管中はかならず容器を密閉し、日光、雨等に当たらないように保管してください。また、密閉した容器でも、容器とキャップの熱膨張・収縮の差によって湿気や降雨等の水分が製品内に入り異常反応する場合があります。高温多湿の場所や雨が当たる場所は避けて保管してください。
- ⑤ 屋外に保管する場合は、周囲をトタン板等不燃材で囲い、下に板・シート等を敷き、かつ全体を覆ってください。

ニッタ化工品株式会社

<https://www.nitta-ci.co.jp>

本 社	〒556-0022 大阪市浪速区桜川4-4-26	TEL 06-6563-1206
東京支社	〒162-0808 東京都新宿区天神町10番地 安村ビル	TEL 03-3235-1713
札幌支店	〒060-0809 札幌市北区北九条西3丁目19-1 ノルテプラザ6F	TEL 011-747-1040
東北支店	〒984-0051 仙台市若林区新寺1-2-26 小田急仙台東口ビル6F	TEL 022-292-1855
中部支店	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-17-23 ニッタビル2F	TEL 052-551-5611
四国支店	〒761-8071 香川県高松市伏石町2018-13	TEL 087-869-1595
九州支店	〒812-0007 福岡市博多区東比恵4丁目4-7	TEL 092-411-8303
広島駐在	〒730-0042 広島市中区国泰寺2丁目2-5	TEL 082-535-3400

防水専用ホームページアドレス <https://nitta-roofing.com>

- 本カタログに掲載の内容は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- カタログと実際の色とは印刷の関係で少し異なる場合があります。
- カタログのイラストは特徴を示したものです。現物とは外観の差異があります。
- カタログの記載事項は一般的な取扱いおよび標準的な場合のものです。特殊な条件下では異なる場合もありますので別途ご相談ください。



ご注意

正しくお使いいただくために
ご使用前に必ず製品ラベルの注意事項
および弊社カタログをお読みください。

2020年11月作成／2011 3B SHO®A